ふ　わ　り　ん　こ

# 風話鈴香

私達の目指すもの
一、地域に開かれた施設
二、入居者、家族、施設、地域のみんなで作る福祉を！
三、老人と共に生きがいを見い出す生活を

2025年 春
第145号

発　行　所　社会福祉法人 阪神共同福祉会 園田苑
発行責任者　理事長　中村　大蔵
〒661-0972　尼崎市小中島1-1-18　TEL06-6493-3731　https://www.sonodaen.com

４月５日の土曜日。善法寺公園はお花見日和でした。お花見へ安全に出発できるよう入居者も職員も準備を整え、私は車いすの入居者お二人を順番に公園へお連れしました。公園への道のり、入居者様は空を見上げながらウトウト。先に到着されていた方々は、ご家族と一緒に楽しそうに時間を過ごされています。私達も桜が沢山咲いている場所で一緒に記念撮影をし、お話しをしながらゆっくりとした時間を過ごしました。「そろそろ帰りましょうか」と声をかけると、首を横に振られたので、「まだ居たいですか」と尋ねると「うん」と返事をされたため、もう少し滞在することにしました。

今年初めて、お花見会に参加しましたが、入居者様とこのような時間を過ごすことができ心が温まりました。

（特養ヘルパー　阪上佐知代）

４月 19 日。 昨年に引き続き、プロの歌い手とピアニストをお招きし、春の音楽会を開催することができました。本格的なクラシックの曲から童謡、昭和歌謡など幅広いジャンルの歌をたっぷりと聞かせて頂きました。合間のおしゃべりはユーモアがあり楽しく、プロの歌声に合わせたぜいたくな体操の時間もあり、あっという間の１時間でした。生で聞く歌声は最高に美しく、心の奥まで響き渡りました。ご縁をつないで下さっている〝ひまわりの家園田〟の杉原さんには心から感謝申し上げます。来年も地域の皆様をお招きし、楽しいひと時を共に過ごせることを願っております。

**法人理念**

**阪神共同福祉会は**

**すべての人の命を大切にし**

**地域福祉の担い手となる**

2025 年度
法人新任職員研修

## 地域における安心の担い手でありつづけるために

施設長　関口　義信

働き手が不足していると言われて久しいですが、介護現場でも「生産性の向上」が叫ばれるようになりました。「人相手のお仕事で生産性？」と違和感を抱く方もいるかもしれません。介護で言う生産性とは、厳しい状況の中においても、介護の質の確保と向上を目的に、３Ｍ（ムリ・ムダ・ムラ）の削減を始めとし、あらゆる視点から、仕事のやり方を見直し、どのようにすれば課題の解消につながるかを考え続け、改善に向けた行動を実践すること。その積み重ねが、より良いケアの実現につながると信じています。

人手不足の中であっても私達園田苑が、地域における安心の担い手としての役割を果たし続けていく為、全職員で力を合わせ頑張っていきたいと思います。

**「できるか　できないか」ではなく**

**「やるか　やらないか」**

自分自身にも喝を入れながら、一緒に働いてくれている仲間と共に日々精進して参ります。

# お茶会

春の空気を感じる３月20日の春分の日。37年前の開設当初からお世話になっているボランティアグループ園（その） 主催の『お茶会』が開かれました。フロアの一角には、入居者と一緒に活けた生け花やお習字が飾られ、和菓子と一緒に目の前で点てられた本格的なお抹茶を頂きました。今回は、ご家族にもお声かけし20名以上の参加がありました。ご家族でおしゃべりに花を咲かせながら、入居者と共に穏やかな時間を過ごされていました。

## “ホットワゴン” 導入！

### ～よりおいしく召し上がって頂けるように～

できたてのおいしさを味わって頂くために、調理のタイミングや提供の方法など試行錯誤しているものの『できあがり～配膳まで』にどうしても時間がかかってしまい、おかずが冷めてしまう状況でした。そこで…配膳の直前まで温めておけるホットワゴンを導入。食材の温かさだけではなく、香りや食感もよく、大好評です。

## 法人研修

11月11日、弁護士さんを招き、阪神共同福祉会（保育・介護）の合同研修を行いました。テーマは、「カスタマーハラスメント」（ご利用者やそのご家族などが、義務のないことを執拗に求める。また、要求の内容が理不尽であること）カスタマーハラスメントに発展しない為に大切になるのが、日々の丁寧なコミュニケーションと信頼関係づくり。そして「できること」と「できない」をきちんとお伝えすること。

参加者の中には、その場面に遭遇したことがない人も多くいましたが、弁護士さんから実例を聞かせて頂く中で、非常に身近なテーマであることを実感しました。普段、接することが少ない保育部門の職員と意見を出し合う場面もあり、多様な視点を学ぶことのできる良い機会となりました。

## もちつき

12月28日、年末恒例行事「餅つき大会」を園田苑玄関前にて開催しました。 お手伝いには、ボランティアグループ園に加えて、地域のつどい場「ひまわりの家 園田」のメンバーにもご参加頂きました。寒空の下でしたが、ご参加頂いた特養の入居者やデイサービスの利用者からは「よいしょ～」「頑張って！」など、とても元気な掛け声と声援が飛び交いました。つきたてのお餅は、施設長特製の北海道産小豆100% 手作りぜんざいで舌鼓。

体も心も温かくなったひと時でした。

## お正月

１月１日、今年も厨房職員が心を込めて作ったおせち料理を囲み、お正月のお祝いをしました。「今年も元気で過ごせますように」との願いを込めて「かんぱーい！」普段とはひと味違ったお料理をゆっくりと頂きました。特養入居者のご家族様もたくさん面会に来て下さり、ご入居者の嬉しそうな笑顔が印象的でした。『今年も 笑顔のひと時をたくさん作れるように頑張ろう』と、思いを新たにしたお正月でした。